

## 工業用塗料

### タフロック（常備色）

ポリエステル樹脂系粉体塗料

#### ■特長

- 光沢・仕上がり感が良く、塗膜性能にすぐれています。
- 耐候性が良く、屋内外用途の塗装に適しています。

#### ■用途

- 鋼製家具などの屋内製品からフェンス、門扉、街路灯、配電盤などの屋外製品まで幅広い分野に使用できます。

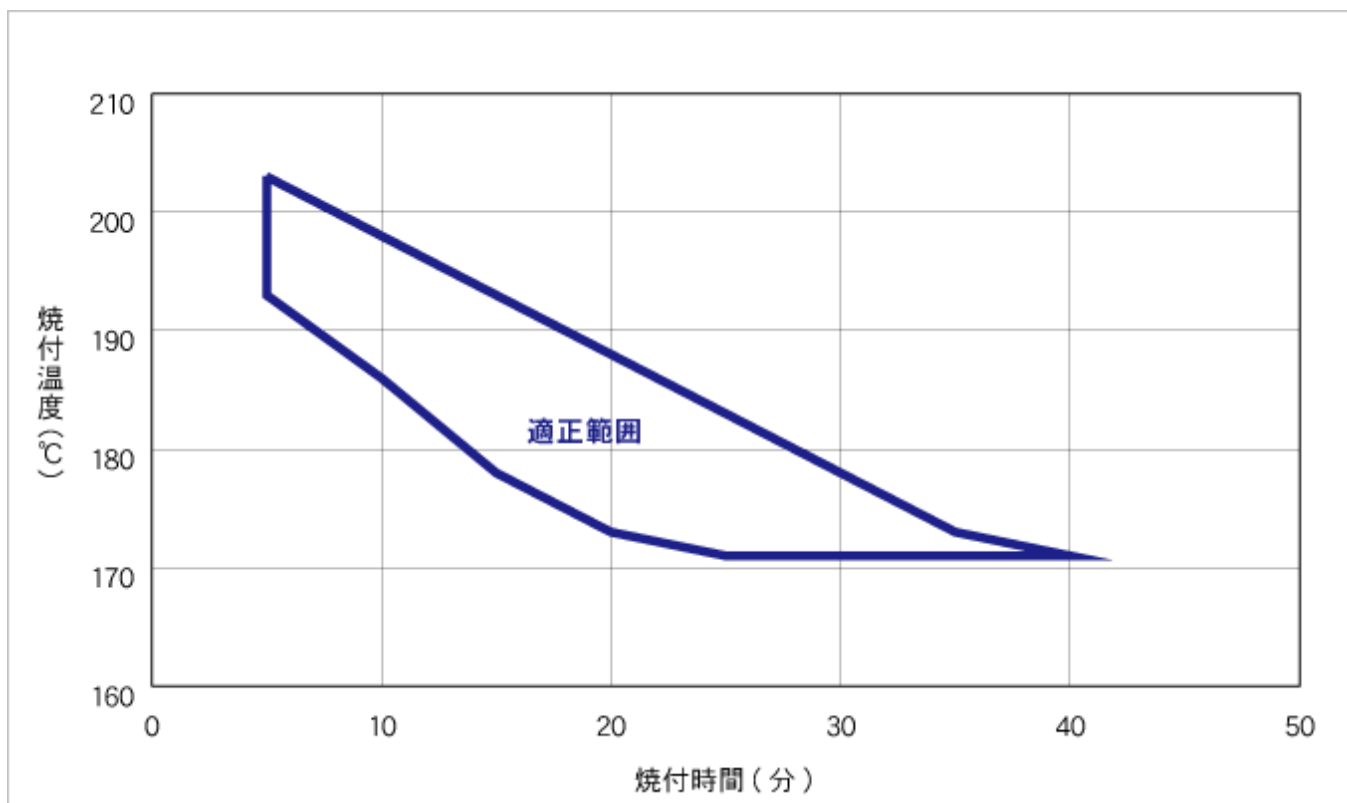
#### ■塗膜性能(艶有り・半艶)

試験片作成条件／ 塗料：タフロック(常備色)(膜厚：60 $\mu$ m)  
 焼付条件：180 $^{\circ}$ C $\times$ 20分(被塗物温度 熱風循環式乾燥炉)  
 素材：リン酸亜鉛処理鋼板(0.8t $\times$ 70 $\times$ 150mm)

試験項目	試験方法	標準性能 (艶有り)	標準性能 (半艶)
鏡面光沢度	60度鏡面光沢度	90以上	45 $\pm$ 5G
鉛筆硬度	鉛筆引っかき硬度(傷硬度)	F~H	2H
耐衝撃性	デュボン式 $\phi$ 1/2" $\times$ 500g	50cm以上	30cm
付着性	1mm基盤目テープ法	100/100	100/100
耐アルカリ性	5%Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> 水溶液 $\times$ 120時間浸漬(20 $^{\circ}$ C)	異常なし	異常なし
耐酸性	5%H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 水溶液 $\times$ 120時間浸漬(20 $^{\circ}$ C)	異常なし	異常なし
耐湿熱性	50 $^{\circ}$ C 98%RH $\times$ 1000時間	異常なし	異常なし
耐塩水噴霧性	5%NaCl 35 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C $\times$ 240時間(テープ片側剥離幅)	0mm	0mm
促進耐候性	サンシャインWOM $\times$ 350時間 色差( $\Delta$ E)	1.0以内	1.0以内
	光沢保持率	80%以上	80%以上

※上記結果は弊社社内試験に基づく結果であり、保証値ではありません。

## ■焼付条件(被塗物温度)



※取扱いの注意:ご使用前には必ずラベル表記、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## ■常備色 ラインナップ

●ポリエステル樹脂粉末塗料(容量18kg)

●特殊色(容量20kg)

品番および品名	日塗工標準色(目安)	品番および品名	色彩目安
049-0500-J2-0001 ホワイト	N-95近似	249-0731 パーマエロー	22-80X近似
049-0500-J2-0002 ブラック	N-10	249-0732 レモンエロー	27-85V近似
049-0500-J2-0003 グレーA	N-65近似	249-0733 オレンジ	09-60V類似
049-0500-J2-0005 5Y7/1	25-70B近似	249-0734 レッド	05-40X類似
049-0500-J2-0007 半艶ホワイト	N-93近似	249-0751 ファインメタリック	細目 ホワイトメタリック
049-0500-J2-0008 半艶ブラック	N-10	249-0752 メジウムメタリック	細目
049-0500-J2-0009 半艶5Y7/1	25-70B近似	249-0753 サニーメタリック	中目
049-0500-J2-0010 半艶2.5Y9/1	22-90B近似	249-0754 スパークルメタリック	粗目
		249-0755 ダークグレーメタリック	ブロンズ系
		249-0756 シャンパンゴールド	淡いゴールド

### ■常備色についての注意事項

- ・日塗工番号を目安として記載しておりますが、実際の色相についてはカラーカードにてご確認ください。
- ・色相は塗装条件(膜厚や焼付)により、見本と異なって仕上がる場合があります。
- ・色相の変更は予告なく行う場合がありますので、ご了承ください。
- ・全色1ケースから承りますが、色相により品薄、品切れ等がある場合がありますので事前にご確認ください。
- ・特殊色は濃色、メタリック色ですのでロット間の色差にご注意ください。

## 粉体塗料の使用上の注意

塗料使用時及び塗膜となつてから、使用方法、保管方法等により、下記の異常が発生する可能性があることから、取扱いに注意してください。

### ●塗装前処理

- 脱脂 …………… 塗装前処理(脱脂、化成皮膜処理、水洗等)が不十分の場合、性能低下を起こす可能性があります。  
被塗物の放置 …………… 塗装後、焼付乾燥を行わずに放置した場合、結露や異物の付着に起因した硬化不良、性能低下及び外観不良を起こす可能性があります。

### ●使用前準備

- 塗料投入時の注意 …………… 塗料を塗装タンクに投入する場合は、一旦、袋から取り出し軽く揉み解し、堅い塊がないことを確認の上で使用してください。  
部材確認 …………… 塗装部材と塗装仕様が合っているか事前に確認してください。

### ●塗装時

- 規定膜厚について…………… 塗装膜厚が薄い場合、性能低下に加えスケ、ユズ肌等の外観不良を生じる可能性があります。  
塗り重ね回数 …………… 過度に塗り重ねを行った場合、剥離、割れ等を引き起こす可能性があります。  
再塗装 …………… 粉体塗膜を再塗装する場合は静電反発等が発生しやすいため、塗装電圧を下げアースの確保を必ず行ってください。また、必ず旧塗膜に研磨処理を行ってください。

### ●焼付乾燥時

- 焼きあま …………… 焼付乾燥が不十分な場合、塗膜性能が著しく低下する可能性があります。  
オーバーベイク …………… エポポリ塗料の場合、オーバーベイク時に極端な黄変が発生することがあります。  
ガステッキング …………… 焼付乾燥時の炉内雰囲気(ガス)の影響で仕上がりに影響が出る可能性があります。

### ●塗料の保管

- 保管方法 …………… 日光の直射を避け、30℃以下の風通しの良い冷暗所で保管してください。  
ブロッキング …………… 高温や多湿の場所に保管すると、粉同士が付着し塊り状になる可能性があります。

### ●塗料

- 艶消し(エポポリ)…………… 焼付条件により、規定の光沢が得られない可能性があります。  
ジンクリッチパウダー …………… 金属成分を多く含有しているため、吸収や漏洩に特に注意が必要であり、保護具の着用等の安全対策を十分に行ってください。

### ●回収粉

- 回収粉の使用 …………… 回収粉を推奨量(推奨使用量: 10%以下)を超えて使用した場合、塗装作業性の低下が起こる可能性があります。

### ●その他

- コンタミ …………… 他種粉体塗料、他社粉体塗料が混入した場合、ハジキ、混色等が発生する場合があります。

### ●塗装品

- 有機溶剤について…………… 塗膜は有機溶剤によって剥離や色艶等の外観に異常をきたす場合があるため、取扱いに注意が必要です。  
使用環境…………… 塩分、酸、アルカリ等の雰囲気下で使用した場合、塗膜の剥離をはじめ様々な異常が発生する可能性があります。  
傷、磨耗について…………… 濃色系の場合、擦り傷等の外観不良が見え易い場合があるため、取扱いに注意が必要です。  
製品梱包について…………… 梱包材の種類によっては、密着跡、色変化、剥離等が発生する可能性があります。  
ワックスについて…………… 塗膜にワックスをかける場合、種類によっては色移り、色落ち、傷付き、艶変化を起こす可能性があります。  
テープやラベルについて…………… 塗膜に長期間テープやラベルを貼り付けた場合、剥がす際に跡や色変化、または剥離を起こす可能性があります。  
色移り…………… ①経年で塗膜が劣化すると色移りする可能性があります。  
②表面を擦った場合、塗膜の削れ、色移りが発生する可能性があります。



# ロックペイント